

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和3年3月30日
九州地方整備局
武雄河川事務所

『嘉瀬川・六角川・松浦川水系流域治水プロジェクト』を公表します ～あらゆる関係者が協働して流域治水を推進～

「流域治水」に関する地域での取組を推進するため、河川整備に加え、流域のあらゆる関係者が協働して行う対策も含めた治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」としてとりまとめたものを公表します。

<概要>

近年、全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、流域全体を俯瞰し、国、流域自治体等のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進していくことが必要です。

このため、あらゆる関係機関が参画する流域治水協議会を立ち上げ、関係機関が協働して流域治水プロジェクトの策定に向けて協議を進めて参りました。

本日、嘉瀬川・六角川・松浦川水系において、流域治水プロジェクトを公表します。

本水系における流域治水協議会に関する情報は、以下のページに掲載しております。

【嘉瀬川水系流域治水協議会】

<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/kase-matsu-project/index.html>

【令和元年8月六角川水系の水害を踏まえた防災・減災協議会】

http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/rokkaku_project/index.html

【松浦川水系流域治水協議会】

<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/kase-matsu-project/index.html>

【問い合わせ先】

国土交通省武雄河川事務所

TEL: 0954-23-5151 FAX: 0954-23-5193

mail: qsr-takeo@mlit.go.jp

技術副所長 小野（内線204）

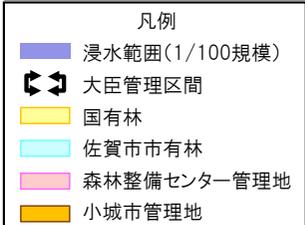
地域防災調整官 高橋（内線304）

武雄河川事務所ホームページアドレス: <http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>

嘉瀬川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～佐賀県特有の広大な低平地を洪水から守る治水対策の推進～

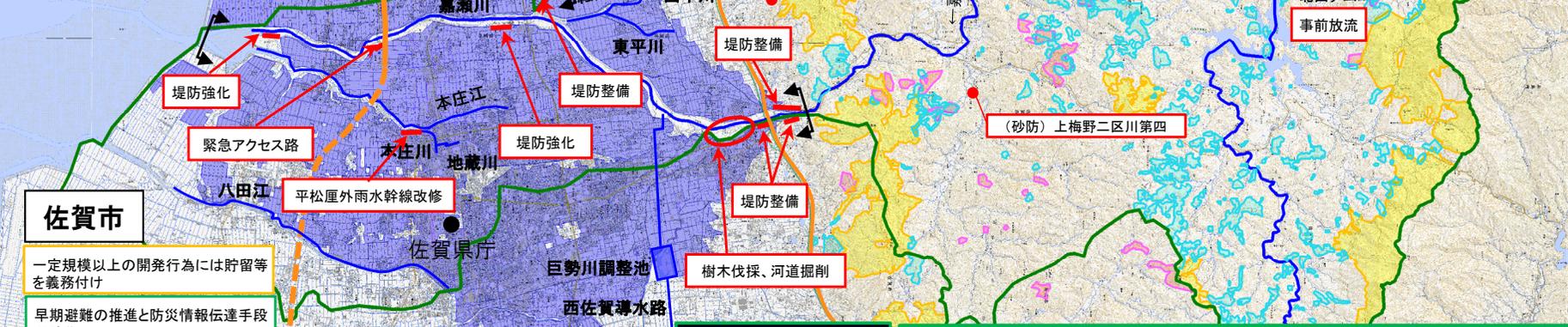
○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により、甚大な被害が発生したことを踏まえ、嘉瀬川水系においても、広大な低平地を流下しているため、広範囲の浸水被害が発生するという流域の特性を踏まえ、河道掘削や堤防整備等を実施していくことで、国管理区間においては、これまで甚大な被害を出した昭和38年6月洪水を安全に流し、これらを上回る戦後最大の昭和24年8月洪水においても堤防越水を回避するとともに、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・河道掘削、堤防整備、河道拡幅、護岸整備、橋梁・改築、樋管整備、内水氾濫対策、排水機場・水門点検更新 等
 - ・ため池の補強・有効活用
 - ・クリーク等の農業水利施設の整備及び有効活用
 - ・利水ダム等2ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（国、土地改良区など）
 - ・森林の整備・保全
 - ・土砂や流木の流出抑制対策（砂防、治山） 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

- 本庄江：河道拡幅、護岸整備、橋梁改築、樋管整備 等
 本庄川、八田江：河道掘削 等
 祇園川、西平川、東平川：河道掘削、堤防強化 等
 地藏川：河道拡幅、護岸整備、橋梁改築 等

小城市
 立地適正化計画の推進
 ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組



佐賀市
 一定規模以上の開発行為には貯留等を義務付け
 早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化



- 被害対象を減少させるための対策**
- ・一定規模以上の開発行為には貯留等を義務付け
 - ・立地適正化計画の推進
 - ・不動産取引時の水害リスク情報提供
 - ・排水機場等の耐水化 等



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化
 - ・防災意識の向上に向けた、関係機関と連携した防災教育の推進
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
 - ・簡易水位計、監視カメラの拡充
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・報道機関と連携した情報発信の強化
 - ・水害リスク空白域の解消 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

嘉瀬川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～佐賀県特有の広大な低平地を洪水から守る治水対策の推進～

● 嘉瀬川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】佐賀市、小城市での重大災害を未然に防ぐため、堤防整備、樹木伐採、河道掘削等を主に実施。また、土砂や流木の流出抑制対策を実施。あわせて、低平地に位置する特徴を踏まえ、クリークの水利用や森林整備等の氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、一定規模以上の開発行為に対する貯留等の義務づけ等の被害対象を減少させるための対策、関係機関との総合防災訓練、防災ハザードマップの作成・周知・活用推進等の被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を実施。

- 河川対策（約199億円）
- 砂防対策（約8億円）
- 下水道対策（約1.1億円）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、河道拡幅、護岸整備、橋梁改築、樋管整備、排水機場・水門点検更新等	国土交通省、佐賀県、佐賀市	嘉瀬川、祇園川の改修	本庄江、本庄川、八田江、東平川、西平川、祇園川、地藏川の改修	
	内水氾濫対策	佐賀市	平松厘外雨水幹線		
	ため池の補強・有効活用	佐賀市、小城市、佐賀県			
	クリーク等の農業水利施設の整備及び有効活用	佐賀市、小城市、佐賀県		クリークの水利用	
	利水ダム等2ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	国土交通省等			
	森林の整備・保全	佐賀市、小城市、富士大和森林組合、佐賀東部森林組合、佐賀中部森林組合、佐賀森林管理署、佐賀県、森林整備センター佐賀水源林整備事務所		水源林造成、人工造林、下刈、間伐等	
	土砂や流木の流出抑制対策	佐賀県、森林管理署	砂防施設整備	溪間工(治山ダム)、山腹工	
	海岸保全施設の機能確保	佐賀県			
被害対象を減少させるための対策	一定規模以上の開発行為には貯留等を義務付け	佐賀市、佐賀県		10,000m ² 以上の開発行為には貯留等を義務付け	
	立地適正化計画の推進	小城市、(佐賀県)			
	不動産取引時の水害リスク情報提供	佐賀市、小城市			
	排水機場等の耐水化	佐賀県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	佐賀市、小城市、佐賀県	早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化、防災意識の向上に向けた関係機関と連携した防災教育の推進、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、報道機関と連携した情報発信の強化 水害リスク空白域の解消 簡易水位計、監視カメラの拡充		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって、変更となる場合があります。

六角川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～国、県、市等が連携し、逃げ遅れゼロと社会経済被害の最小化を目指す～

○ 令和元年8月豪雨では、六角川水系牛津川で観測史上最高水位を記録し、堤防から越水、支川や水路からの氾濫により、六角川水系において甚大な被害が発生したことを踏まえ、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大規模の平成2年7月洪水及び令和元年8月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



■河川における対策

対策内容 河道掘削、河道拡幅、護岸整備、橋梁・堰改築、引堤、遊水地整備 等

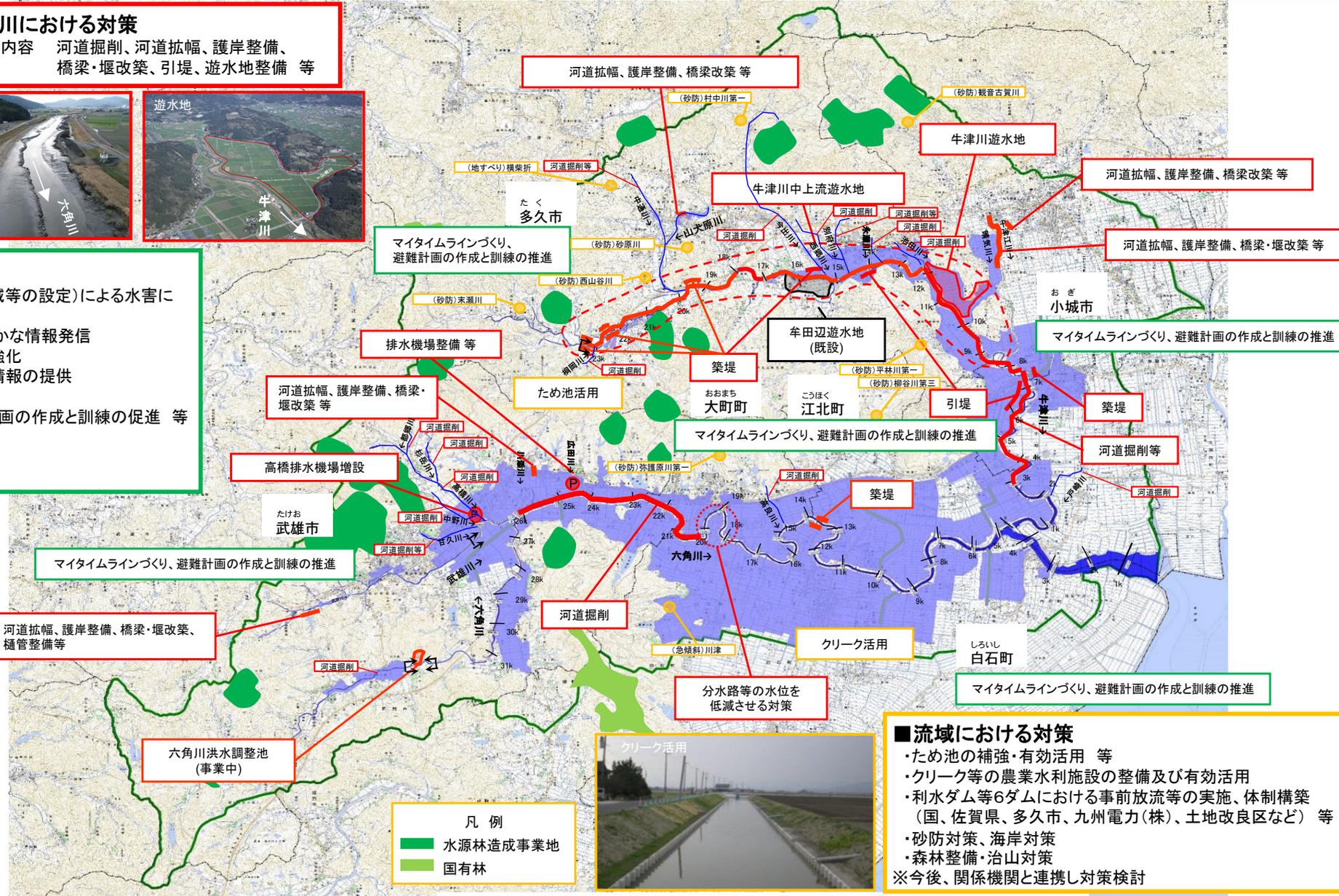


■まちづくり、ソフト施策

- ・住まい方の誘導等(災害危険区域等の設定)による水害に強い地域づくり
 - ・災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信
 - ・報道機関と連携した情報発信の強化
 - ・危険物管理施設への浸水リスク情報の提供
 - ・マイ・タイムラインづくり
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成と訓練の促進 等
 - ・水害リスク空白域の解消
 - ・簡易水位計・監視カメラの拡充
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



凡例
 浸水想定区域
 大臣管理区間



凡例
 水源林造成事業地
 国有林



- ## ■流域における対策
- ・ため池の補強・有効活用 等
 - ・クレーク等の農業水利施設の整備及び有効活用
 - ・利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 (国、佐賀県、多久市、九州電力(株)、土地改良区など) 等
 - ・砂防対策、海岸対策
 - ・森林整備・治山対策
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

六角川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～国、県、市等が連携し、逃げ遅れゼロと社会経済被害の最小化を目指す～

● 六角川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 流域の中心である武雄市街部を流れる六角川、小城市街部を流れる牛津川等での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削、河道拡幅、遊水地整備等を主に実施する。また、県管理区間においても河道拡幅、護岸整備、橋梁・堰改築、樋管整備等を実施する。あわせてクリーク等の有効活用や利水ダムの事前放流等の流域における対策を行い、住まい方の誘導等による水害に強い地域づくり、防災教育や情報発信の強化、浸水リスク情報の提供等のソフト対策を実施し、流域内の被害軽減を目指す。

【中期】 六角川上流部の洪水調整池事業の継続、牛津川中上流部に新たな洪水調節施設を整備する。また、雨水貯留施設の整備、ため池等既存施設の補強・有効活用やソフト対策を実施しながら被害の最小化を目指す。

【中長期】 牛津川上流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削等を実施するとともに、流域における対策やソフト対策を継続して行うことで、流域全体の安全度向上を図る。

■ 河川対策 全体事業費 約831億円
 ■ 砂防対策 約10億円
 ■ 海岸対策 約8億円

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
河川における対策	河道掘削、河道拡幅、引堤	武雄河川事務所 佐賀県	六角川中流、牛津川下流、武雄川等	激特事業、大規模災害関連事業完了	牛津川上流
	遊水地整備	武雄河川事務所	牛津川遊水地	牛津川中上流遊水地	
	橋梁・堰改築	佐賀県	橋梁・堰改築	六角川洪水調整池	
流域における対策	砂防対策 海岸対策	佐賀県	砂防対策	海岸対策	
			流出抑制対策	佐賀県、関係市町 森林管理署、森林整備センター	クリーク等の農業水利施設の整備及び有効活用
	内水被害軽減対策	武雄河川事務所 佐賀県、関係市町	武雄・北方地区のポンプ場整備	森林整備・治山対策	
			既存施設の有効活用	佐賀県、関係市町	利水ダムの事前放流
	ため池の補強・有効活用 等				
ソフト対策	浸水被害軽減対策	佐賀県、関係市町	住まい方の誘導等による水害に強い地域づくり		
	ソフト対策のための整備	武雄河川事務所 佐賀県、関係市町	報道機関と連携した情報発信の強化、危険物管理施設への浸水リスク情報の提供 マイ・タイムラインづくり、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成と訓練の促進		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

松浦川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～豊かな自然環境を育む松浦川水系の地域と一体となった防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により、甚大な被害が発生したことを踏まえ、松浦川水系においても、急勾配で蛇行しながら山間部を流下するため、浸水被害発生時には、氾濫流が河道沿いの道路や農地を高速で流下し、家屋等や交通網への影響が懸念されるという流域の特性を踏まえ、堤防整備や河道掘削等を実施していくことで、国管理区間においては、平成2年7月洪水（整備計画規模）に対して、「決壊」「越水」等による家屋の浸水被害の軽減を図り、これらを上回る戦後最大の昭和28年6月洪水においても、浸水被害の軽減を図る。

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化
 - ・防災意識の向上に向けた、関係機関と連携した防災教育の推進
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
 - ・簡易水位計、監視カメラの拡充
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・報道機関と連携した情報発信の強化
 - ・水害リスク空白域の解消 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、堤防嵩上げ、河道拡幅、堰・橋梁改築、護岸整備、樋管整備、排水機場・水門点検更新 等
- ・ため池の補強・有効活用
- ・農業水利施設の整備及び有効活用
- ・利水ダム等7ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、佐賀県、九州電力(株)など）
- ・雨水幹線の整備等
- ・森林の整備・保全
- ・土砂や流木の流出抑制対策（砂防、治山）等

松浦川：河道拡幅、河道掘削、護岸整備、橋梁・堰改築、樋管整備 等
 多々良川、平古場川、鳥海川、三間坂川、町田川：河道掘削 等
 田中川：堤防補強 等

■被害対象を減少させるための対策

- ・一定規模以上の開発行為には貯留等を義務づけ
- ・不動産取引時の水害リスク情報提供
- ・排水機場等の耐水化



凡例

■	浸水範囲(1/100想定)
⇄	大臣管理区間
■	森林整備センター管理地
■	国有林
■	官行造林地



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

松浦川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～豊かな自然環境を育む松浦川水系の地域と一体となった防災・減災対策の推進～

● 松浦川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 国においては、唐津市街部での重大災害の発生を未然に防ぐため、徳須恵川下流の築堤等を実施する。県においては、県管理区間の松浦川等の築堤・河道掘削等を実施し、また、土砂・流木の流出抑制対策を実施する。併せて、ため池の有効活用や森林整備等の氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、一定規模以上の開発行為に対する貯留施設設置等の義務付け等の被害対象を減少させるための対策、避難訓練や、ハザードマップの作成等の被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を実施。

【中期】 国においては、厳木川中流の築堤、堰・橋梁の改築等を実施する。

【中長期】 国においては、厳木川上流、松浦川中流～上流、徳須恵川中流～上流の築堤、堰・橋梁の改築等を実施する。

■ 河川対策 (約177億円)
 ■ 砂防対策 (約14億円)
 ■ 下水道対策 (約0.7億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、堤防嵩上げ、河道拡幅、堰・橋梁改築、護岸整備、樋管整備、排水機場・水門点検更新等	国土交通省、佐賀県	徳須恵川下流の改修	松浦川中流～上流、徳須恵川中流、厳木川上流の改修	徳須恵川上流の改修
	ため池の補強・有効活用	唐津市、伊万里市、武雄市、佐賀県	厳木川中流の改修		
	農業水利施設の整備及び有効活用	唐津市、伊万里市、武雄市、佐賀県	松浦川、多々良川、平古場川、鳥海川、三間坂川、町田川、田中川の改修		
	利水ダム等7ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	国土交通省等			
	雨水幹線の整備等	唐津市			
	森林の整備・保全	唐津市、伊万里市、武雄市、まつら森林組合、伊万里西松浦森林組合、武雄杵島森林組合、佐賀森林管理署、佐賀県、森林整備センター佐賀水源林整備事務所	水源林造成、下刈、間伐、林道整備等		
	土砂や流木の流出抑制対策	佐賀県、佐賀森林管理署	砂防施設整備	溪間工(治山ダム)、山腹工	
	海岸保全施設の機能確保	佐賀県			
被害対象を減少させるための対策	一定規模以上の開発行為には貯留等を義務付け	佐賀県	10,000m ² 以上の開発行為には貯留等を義務付け		
	不動産取引時の水害リスク情報提供	唐津市、伊万里市、武雄市			
	排水機場等の耐水化	佐賀県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	唐津市、伊万里市、武雄市、佐賀県	早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化、防災意識の向上に向けた関係機関と連携した防災教育の推進、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、報道機関と連携した情報発信の強化 水害リスク空白域の解消 簡易水位計、監視カメラの拡充		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって、変更となる場合があります。